



米国研究製薬工業協会（PhRMA）ヴァイスプレジデント（国際担当） ケビン・ハニンジャー

PhRMAにおいて、国際政策チームを統括し、市場アクセスや知的財産、貿易、そしてグローバルヘルス政策に関連する課題に取り組み、各国市場や多国間機関との連携を担当しています。

PhRMAに加わる以前は、米国保健福祉省の長官室でシニアエコノミストとして経済分析や政策提言に携わっていました。また、米国科学振興協会（AAAS）の政策フェロー、ロバート・ウッド・ジョンソン財団のヘルス&ソサイエティスカラー、さらに米国国家科学財団（NSF）の大学院リサーチフェローとしても活躍していました。

スタンフォード大学を優秀な成績で卒業し、学士号を取得。その後、ハーバード大学では「Valuing Health for Public Policy」をテーマに博士論文を完成させ、博士号を取得しました。研究成果は、Journal of the American Medical Association（JAMA）、JAMA Pediatrics、American Journal of Agricultural Economics、Journal of the Association of Environmental and Resource Economics、Journal of Environmental Economics and Management、Journal of Risk and Uncertainty、Risk Analysis など、一流の査読付き学術誌に掲載されています。